

平成26年度「前期選抜」、「後期選抜」についての主な意見等について

千葉県教育庁教育振興部指導課

(中)：中学校の意見 (高)：高等学校の意見

	意見等	対応
平成27年度以降の入学選抜で改善したもの	(中) 入学確約書は保護者印のみでよいのではないか。	○入学確約書について、中学校長の公印をなくし、保護者印のみとしました。
	(中) 前期選抜の手続きで時間のかかりすぎる高校があった。もっと対応職員を増員するなど、適切な対応してほしい。	○各地区の実施要項説明会で、高等学校に対して、ミスを起こさないよう慎重に受付事務を行いつつ、志願者に配慮して、迅速に事務手続きが進むよう、効率的な受付事務体制の整備をお願いします。併せて、中学校に対しても、午前と午後に分散して志願者に出願させるなどの御協力をお願いします。
	(高) 中学校から提出される学習成績分布表で、中学校名が記載されていないか、数値にミスがあったりして、差し替えが多い。	○学習成績分布表について、中学校名の記入漏れを防止するため、様式を一部変更し、中学校名と校長名を2段に分けて記載するようにしました。
	(中) 志願理由書は廃止の方向で検討してほしい。 (高) 志願理由書の提出は必要ない。	○志願理由書について、全ての高等学校で提出を求める現行の仕組みを廃止しました。ただし、各高等学校の裁量で提出を求めることも可としました。
平成28年度以降の入学選抜で改善するもの	(中) 日程が過密すぎる(前期選抜と後期選抜が近すぎる)。前期選抜の発表から後期選抜の出願までの間をあけてほしい。前期選抜の発表から後期選抜の出願までの日数が少なく、生徒・保護者と十分に話し合うことができない。 (高) 前期選抜から後期選抜の間が近すぎる。	○平成28年度入学選抜から、前期選抜等の発表から後期選抜等の入学願書等の提出までの期間を2日とします。
	(高) 専門学科の前期選抜の枠を100%まで拡大してほしい。	○平成28年度入学選抜から、前期選抜等の選抜枠を一部拡大します。 ・専門学科及び総合学科(普通科から改変した場合を除く)の前期選抜枠を、50%以上100%以内とします。 ・地域連携アクティブスクールの一期入学選抜の選抜枠を、60%以上100%以内とします。
入学選抜制度に係るもの	(中) 前期選抜と同じ学校に出願する場合、調査書の提出をなしにできないか。 「特記事項」の記載は、学校外のもは本人の「自己申告書」等とし、中学校で取り組んだものに限定した方がよい。 (高) 調査書の記載内容に統一性がなく、評価が困難である。中学校間で表現や基準の統一がとりやすい様式にしてほしい。	○各中学校、高等学校から出された意見をまとめたものを、毎年千葉県公立高等学校入学選抜方法等改善協議会に報告し、協議の資料としています。同協議会の意見をはじめ、さまざまな方からの意見を参考に、今後の入学選抜制度がより良いものとなるよう、検討していきます。
	(中)(高) 検査の前日が休日となるような日程はやめてほしい。	
	(中) 学力検査を2日間に分けて実施してほしい。 (高) 前期選抜、後期選抜とも1日5教科の検査を行うのは、受験生の負担が大きい。2日間に分けて実施してほしい(1日目3教科、2日目2教科等)。 前期選抜2日目の検査について、なしの選択肢を検討してほしい。	
その他	(中)(高) 前期選抜と後期選抜を一本化してほしい。	
	(中) 期待する生徒像について、生徒が読んだときに、表現(「具備する」、「有する」、「満たす」等)がわかりづらい部分があるので、具体的な表現にしてほしい。どの学校も似たり寄ったりで、あまり意味のあるものを感じない。可否の判定にどう関わるのか不明確である。	